

# 山岳友の会会報

2021年9月 第41号



王滝村清滝 撮影：荻野 秀夫

## も く じ

第51回現地研修会（王滝村）	報告1 小林 久雄	2
	報告2 渡邊 修	3
第26回上高地談話会（酒沢）	報告 小林 久雄	5
明神養魚池メンテナンス	報告 小林 久雄	5
第52回現地研修会（中止）雑感	小林 久雄	6

# 王滝村瀬戸川美林を訪ね立花シェフの美食を堪能 —第51回現地研修会（王滝村）報告 その1—

小林 久雄

第51回現地研修会は15名の参加で実施されました。

コロナ感染拡大中で非常事態宣言も拡大延長される中、開催は困難かと気をもみましたが...王滝三人衆の計らいで、梅雨入り直前の好天久々のスタートです。



樹齢300年を超える瀬戸川のヒノキやサワラの大径木を歩きます。ゲートを開けてマイクロバスを瀬戸川沿いに、旧林鉄跡の林道を行きます。

溪流の爽やかさと新緑の煌めきの中、スタート地点で美味しいビールとお弁当です。何と言ってもコロナ禍でバス車中の飲食が残念ですが.....出来ないの

で、木漏れ日の中飲むビールとお弁当は素敵でしたよ。少し今日の行程を軽んじしまい、大いにハシャギ過ぎました。

少し登りつめて「渡邊さん」のヒノキ・サワラ談義で一息。外皮の違いや葉の裏の文模様など、自然観察の説明に頷きつつ聞き入りました。それにしても何とも綺麗な森林デスね。いつまでも残してほしい美林に深呼吸する事しきりでした。

「澤田さん」からの瀬戸川にうぐい川や滝越に濁川などの、林鉄の古地図に感心しながら林を進み、漸くして下りにかかると、紅色の見事なシャクナゲに出会いました。



下って東俣との出合、そこから少しまた登って凄い大樹のヒノキに行きました。300年を超えて4人でも抱えられない見事なヒノキでした。

初日は「おが山荘」お泊りデス。今宵はいよいよ「立花シェフの美食」。食レポは得意のワタナベさんに任せします。( ^ ▽ ^ )

御嶽海の快勝と美食に満喫していたら、なんと雨音。東海地方まで梅雨入りしました。

愉しみのカヌーも天候不順で中止になり、翌朝は立花シェフに挨拶してから雨の自然湖に。靄もかかり幻想的な自然湖、途中濁沢の洪水の凄まじさも見ながら、新緑を目に焼き付けました。

更に「御嶽神社」へ向かいます。参道の階段は451段とか....板状節理の岸壁の下に社殿。ここでは「澤田さん」の案内を頂き、場所を「十二大権現」から「御嶽古道」を、鼻戸の茶屋で休み、清滝・新滝と滝巡り、お昼は大又の「そば処さくら」でツアーを打ち上げました。

立花女史、澤田、渡邊の「王滝三人衆」の計らいと案内で、王滝村を満喫の2日間でした。大変お世話になりありがとうございました。

ワクチン接種も中々問題続きで感染拡大も静まらず、バス旅も飲めずと色々ですが。何とか7月の『濁沢談話会』で皆さんにお会い出来ることを祈って筆を置きます。

【写真：荻野 秀夫】

## 特別投稿「立花シェフ食レポ」

### —第 51 回現地研修会（王滝村）報告 その2—

渡邊 修

久雄さんから「立花シェフの食レポ？」の依頼がありましたので…！

2021 年度総会が 4 月 3 日（土）に松本市駅前会館で新型コロナ感染防止対策を万全にする中で開催され、2021 年度事業計画が満場一致で承認され、今年度がスタートしました。勿論、楽しみにしていた「懇親会」は昨年度に続き見送られることとなりました。

「山岳友の会」会員の皆様如何お過ごしでしょうか？

2021 年今年度第 1 回目となる現地研修会「瀬戸川美林を訪ねる」は 5 月 15 日～16 日開催されました。回を重ね早くも何と 51 回となりました。

今回の王滝村での現地研修会は平成 25 年度の第 7 回「木曾御岳山の山麓を巡る」に続いて 2 回目の開催となりました。

私は平成 25 年、当時中信森林管理署（松本市）に赴任して間もなくの事でしたが、ある会議で山口会長、鈴木教授（当時）と一緒にになり、後の懇親会の際に「山岳友の会」の話が話題になり入会を即断しました！…が、鈴木教授は「個人的には良いと思うけど…会長に伺わないと解らない！」とのこと。早速、山口会長にお願いすると…！「う～ん！良いんじゃないの！！」の一言！会長曰く、「5 月 18～19 日に「第 7 回木曾御岳山の山麓を巡る」が開催されるので参加すれば！」とのこと。我が古郷の王滝村での開催であれば是非参加させて欲しいとお願いしたところ、快諾していただき参加することとなりました。

三岳の道の駅で合流し～百草で有名な長野県製薬で工場見学～東京大学天文学教育研究センター「木曾観測所」でシュミット望遠鏡を見学～松原公園での昼食（森林鉄道体験乗車）～御岳自然湖～県境の白巣峠～お泊まりは「おが山荘」！

…月日は流れあれから 8 年目…！参加者から満場一致での入会承認をいただいた忘れることの出来ない、我が古郷王滝村の「おが山荘」で再び！…感慨深いものがあります。

少々前置きが長くなりましたが、運営委員会の中でひょんな事から第 51 回現地研修会は立花シェフ（立花裕美子会員の旦那さん）の料理でとの話が持ち上がりました。宿泊する「おが山荘」にも快諾をいただいたことから、宿泊は「おが山荘」夕食は「立花シェフの料理」が決定しました。

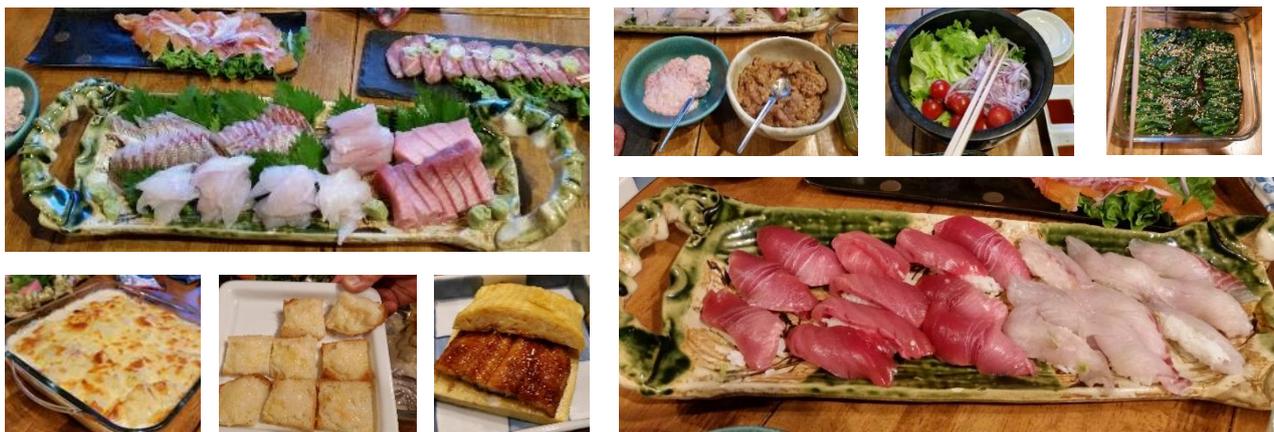
今回の現地研修会の前に事前の下見が 4 月 15～16 日に行われ、ホンちゃんを前に前哨戦的な感じで立花シェフの料理を食すこととなりました。

私は仕事の都合で「瀬戸川美林」の下見には同行できませんでしたが、夕方から立花宅にお邪魔し、早速宴会となりました。



#### 4 月 15 日下見の料理

富山県氷見市から取り寄せた新鮮な魚介類をはじめ、野菜サラダ、ハウレンソウのお浸し、グラタン、トーストに海老しんじょのせ、鰻の厚焼き卵、メは握り寿司。皆大満足でホンちゃんに！



### 5月18日ホンちゃん料理

下見同様に富山県氷見市から取り寄せた新鮮な魚介類(マダイ、クロダイ、ヒラメ、キジハタ、ノドグロ、ウマズラ、マゴチ、フクラギ、カマス、スズキ、クロムツ、アジ、ホウボウ、トビウオ、コウイカ、ホタテ何と…！16種)の刺身をはじめ、ローストビーフ、ホタテの燻製、野菜サラダ、煮物(里芋、蓮根、牛蒡、椎茸、人参、蒟蒻)、ほうれん草のお浸し、だし巻き卵、トーストに海老しんじょのせ、あら汁(赤出汁仕立て)勿論、最後のメはやっぱり握り寿司。



海無し県の長野県…！ましてや木曾郡の最も山奥の王滝村で氷見直産の新鮮な魚介類の刺身をメインに大満足で夕食を終え、会場を移して更なる親睦を深めました！！  
これじゃあ…！ちっとも「食レポ」になっていないなあ！かんべんねえ～！



立花シェフ美味しい料理を沢山有難うございました！

レポーター：ペンネーム：瀬祭036(DASSAI036)ことドラエモン

## 第26回上高地談話会（第9回洸沢談話会）報告

小林 久雄

連日の午後から深夜に降る雨、梅雨に入って安定しない日々に、7月の談話会の参加は雨の登山となかば諦めての参加でしたが、横尾山荘でお出迎いの市川さんとつかの間の談笑中に明るい空となり、午前中はほとんど雨も合わずに、ほとんどの参加者はヒュッテのテラスで再開し、それを喜びあつてのスタートでした。



参加は15名。今回は鈴木教授の『北アルプスの気候－気温と雪』のお話を聞きました。梓川水系の流量の推移と5月6月7月の降水量。確かに多いのですが降水量との川の流量の析違いの量をお聞きし、また穂高山稜の積雪量(何と洸沢カールは30m越え)の雪が融けて川に流れる。それは暖かな空気が風の流れて雪を融かすといった理論に感心し、その水がダムによる水力発電、リンゴや葡萄を育て、お米やレタスにキャベツ、長芋といった野菜など松本平・安曇野の恵みを私たちにもたらず事のありがたさ。



教授のわかりやすいお話で有意義な談話会になりました。また今回は初参加の三橋さんなど夕食と宴はヒュッテの格別な料理とビールにワインと楽しい一夜で小雨の中を下山。

コロナ禍とワクチン接種など緊張感の中、無事に終了出来ました。

【写真：荻野 秀夫】

## 明神養魚池メンテナンス報告

小林 久雄

〔参加者〕 小石 田下 荻野 滝沢 小林

お昼に水抜きを準備しながら「冷や麦」とビールで昼食後に二の池を中心に順次実施。

途中、少し雨もありましたが.....何とか無事に実施。少し疲れましたが.....池はきれいになりました。囲炉裏で焼き肉して慰労しましたよお。

夏前にコロナ禍のおりに無事に実施できて良かったです。



【写真：荻野 秀夫】

## 第 52 回現地研修会－熊野三山・高野山・那智の滝を巡るたび－雑感

小林 久雄

ブレーク・スルー感染、新型コロナ感染拡大にて、研修が中止になりました。  
何事も諦めてはいけません。  
人生前向き、カラ元気、カラポジティブで頑張りましょうね。

『きのうまで 踏まれし草も 花咲かす』  
『焚くほどは 風がくれたる 落ち葉かな』 一茶

我慢して過ごす日々。  
外出を自粛し、うがいして、マスクして、手洗いも丁寧にして、ソーシャルディスタンス。  
でも、決してあきらめる事が有ってはならないなあ～。  
カラポジで明日を夢見て.....。

信州大学山岳友の会会報 第 41 号  
発行日：2021 年 9 月 1 日  
発行：信州大学山岳友の会  
〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1  
信州大学山岳友の会事務局  
TEL：0263-37-3332  
FAX：0263-37-2438  
E-mail：suims@shinshu-u.ac.jp